

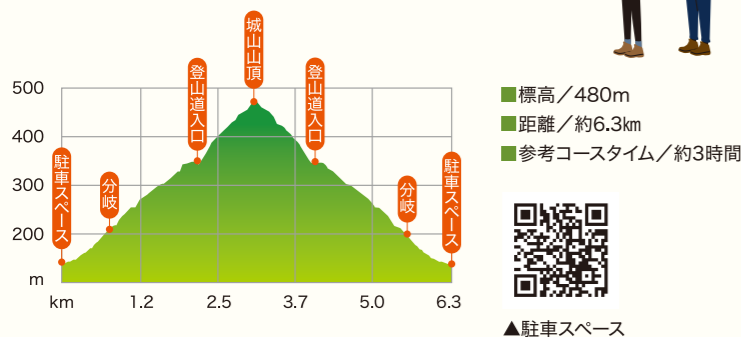
益城4座

THE 4 MOUNTAINS OF MASHIKI

登山マップ

城山・金山銅山 480m

じょうやま・かなやまどうざん



近代化を支えた銅鉱の記憶をたどる

山腹には金山銅山(江戸時代末期~大正11年)が所在し、かつては日本の近代化を支えていた。導水管を兼ねたトロッコ道や水力発電所跡、坑口等の産業遺産をみることができる。周辺には布田川断層帯(堂園地区)や津森城跡、千光寺等の文化財がある。



船野山 308m

ふなのやま

■標高/308m
■距離/約0.1km
■参考コースタイム/約10分

船の話が語り継がれる、静かな里山

山名のとおり、船底がひっくり返ったような形をした山。百済から来た僧・日羅の船が沈み、転覆した船が山になったという伝承が残る。近くには、転覆の際に水死した48人を祀る木崎荒帆神社が所在する。約50万年前に活動していた火山である。



▲駐車スペース

① トロッコ道

一般立ち入り禁止。見学ツアーに参加しよう



② 銅山(坑口)



③ 分岐 分岐を右へ進む

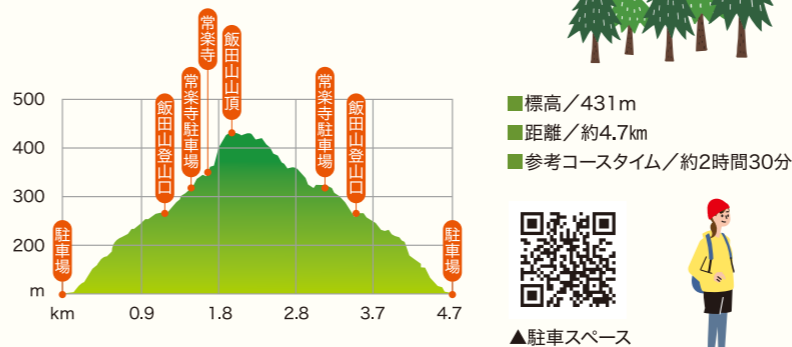


④ 城山(山頂)



飯田山 431m

いいださん



古の信仰が息づく、天空の大パノラマ

山頂に白山神社、八目目に常楽寺を擁する飯田山は、古くから山全体が信仰の対象とされてきた。頂上公園からは明海から阿蘇までを見渡す大展望が広がる。また金峰山との背比べ伝説が残ることでも有名だ。眼下の金峰山や江津湖を眺めつつ、民話の世界に思いを馳せてみよう。

① 飯田山自然公園

新屋敷の堤(トンボ池)



② 石仏(一丁地蔵)

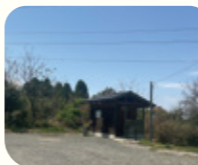
常楽寺まで一丁毎(一丁=109m)に石仏が並んでいる



③ 飯田山登山口



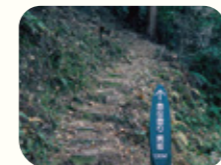
④ 常楽寺駐車場



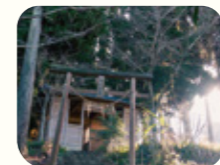
⑤ 常楽寺



⑥ 男坂入口



⑦ 白山神社



⑧ 飯田山(山頂)



ここまで車で来ることができます



朝来山 465m

ちょうらいさん



鬼と修験の伝承が残る、山桜の名所

鬼や土蜘蛛(つちぐも)の伝説が残る朝来山は、かつて修験の場でもあった神秘的な山だ。登山道には山桜の大木が点在し、知る人ぞ知る桜の名所として親しまれている。頂上からは阿蘇くまもと空港を一望でき、迫力ある飛行機の離着陸を眺められるほか、木々の隙間から阿蘇の山々を望めるのも、この山ならではの魅力である。

① 分岐 分岐を左に曲がる



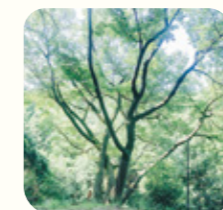
② 馬頭桜



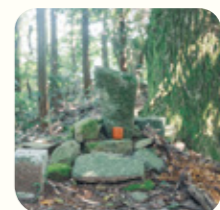
③ 分岐 分岐を右に上がる



④ 七福神桜



⑤ 朝来山(山頂)



⑥ 福田桜

